

特集1

6.18大阪府北部地震

被害状況と復旧に向けた取り組み

特集2

ポケットの中の図書館

阪大生の疑問に答えるオンラインツール紹介

連載 学ぶ人のための情報ページ LS FORUM

留学 -行くひと・来るひと- ラーニング・サポーターの体験記

NEWS☆図書館からのお知らせ

いちょう祭での図書館イベント、他

6.18大阪府北部地震 被害状況と復旧に向けた取り組み

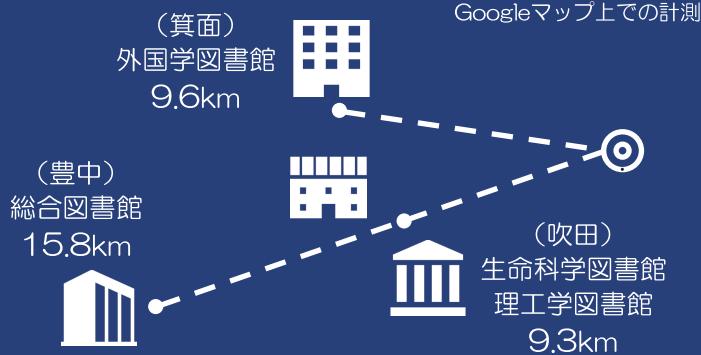
2018年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震による、附属図書館の開館・サービス状況、主な被害・損害、復旧に向けた取り組みについて報告します。

地震に関する情報

発生時刻 2018年6月18日（月）午前7:58
最大震度 6弱（箕面市など。豊中市・吹田市は5強）
マグニチュード 6.1
震源の深さ 13km
震源の位置 北緯 34度50.6分
東経 135度37.3分

気象庁 | 震度データベース検索 [2018年9月12日閲覧]
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/Event.php?ID=9902228>

震央と図書館の直線距離



地震発生後の開館・サービス状況

地震発生当日の6月18日と翌19日は全館臨時閉館の措置を取り、建物の安全確認を行いました。

その後、20日からの授業再開を受け、安全が確保できたエリアから、全館で開館することを決めました。20日時点では、開館時間を遅らせて閉館時間を早める短縮開館でスタートし、4館全てが通常の開館時間に戻ったのは翌月2日のことでした。

また、当初利用できたのはごく一部の座席のみで、その後もほとんどの座席・資料が利用できない状況が続きました。

施設・設備の被害（3ページ参照）は大きく、7月上旬の西日本豪雨、同月下旬の台風12号による大雨では、地震により生じた壁面のひび割れから水が染み出し、館内のいたる所で雨漏りが発生しました。

試験期を迎える前に、通常の時間どおりに開館できるようになりましたが、書架の破損、傾きなどがある場所については、9月現在も利用制限が続いている。



(左) Webサイトのお知らせ（開館・サービス状況、日英併記）
(右) 被害状況を報告するツイート

臨時閉館・短縮開館の状況

6/18 (月) 19 (火)	4館とも臨時閉館。建物の安全確認を実施。
6/20 (水)	外国语学図書館を除く3館で短縮開館。外国语学図書館は臨時閉館（大雨で箕面キャンパス付近に出た避難勧告により休講）
6/21 (木) 22 (金)	4館とも短縮開館（以降、開館時間が平常化するまで短縮開館）
6/23 (土) 24 (日)	4館とも臨時閉館（通常は学生の時間外職員による開館だが、18日以降も余震が継続しており、大きな地震が発生する可能性を考慮して臨時閉館とした）
6/25 (月)	外国语学図書館、開館時間が平常化
6/27 (水)	総合図書館と理工学図書館、開館時間が平常化
7/2 (月)	生命科学図書館、開館時間が平常化
7/7 (土) 8 (日)	4館とも臨時閉館（西日本豪雨の影響による）

サービス再開の状況（利用再開日と内容）

〈総合図書館〉 6/20 (水) 2階の座席・資料、 自動書庫 6/22 (金) 3・4階の座席・資料 6/26 (火) 1階の座席・資料、 書庫棟 6/28 (木) 5階の座席・一部の 資料 7/11 (水) 5階の全資料 9/12 (水) 全てのサービス再開	〈理工学図書館〉 6/20 (水) 西館・東館1階の座席 6/21 (木) 西館2階の座席・資料 (職員による出納) 7/26 (木) 東館3階の洋雑誌 (職員による出納) 8/1 (水) 全てのサービス再開
〈生命科学図書館〉 6/20 (水) 4階の座席 6/25 (月) 4階の座席 8/6 (月) 一部の和・洋雑誌	〈外国语学図書館〉 6/25 (月) 全てのサービス再開

主な被害・損害

数値は4館の合計



書架から落ちした図書
約75,000冊



買い替えが必要な図書 or
専門業者による修理が必要な図書
約1,200冊



壁面のひび割れ
約3,000か所



負傷者
0名

左に挙げたもの以外にも、

- ・書架の破損、すれ、固定ゆるみ
- ・ガラス・蛍光灯の破損
- ・空調機破損による水漏れ
- ・壁面ホワイトボード塗装割れ

など多数の被害・損害がありました。

地震発生が開館前で利用者がおらず、館内での負傷者がゼロであったのは不幸中の幸いでした。

総合図書館



A棟4階
(多数の図書が落下)



C棟3階マイクロ資料室
(棚の落下)

理工学図書館



西館2階
(多数の図書が落下)



東館3階
(密集書架の傾き)

生命科学図書館



3階
(書架破損、落下図書を机に仮置き)



3階
(棚背面のアームゆがみ)

外国学図書館



書庫1階
(扉のパーツ破損)



書庫中2階
(多数の図書が落下)



落ちた図書を書架に戻す作業（総合）



破損した資料の補修（総合）

復旧に向けた取り組み

地震発生後、被害状況の把握のため、各館で職員が館内の点検と見回りを行いました。被害状況の記録写真は、6月18日から20日の3日間で1,300枚を超えます。

書架の破損がなかったエリアでは、余震にも注意しながら、地震発生当日から図書を戻す作業に取りかかりました。落ちた図書のうち、破損が著しいものは専門業者による修理、または買い替えの対象とし、軽微だったものは職員の手で補修していきます。

施設・設備の修繕については、利用者の安全確保、学習と教育研究のスムーズな継続、の2点を重視して優先順位を定め、災害復旧費を申請する手続きを行っています。9月現在、一部の工事はすでに実施済みですが、原状復帰にはまだまだ遠い状況です。

復旧に関する続報は、附属図書館Webサイト、ツイッター、館内掲示などを通じて隨時お知らせいたします。

「本の検索…どうやるの？」

情報活用基礎「図書館活用法」、で復習する



どこでも

例年、1年生春学期（一部の学部では1年生秋学期、2年生春学期）の授業で、資料の種類と選択、また図書・雑誌の検索方法について図書館職員がお話ししています。「3.図書館資料の探し方」を復習して、検索のコツを思い出しましょう。

附属図書館TOP>しらべる>学習・研究のサポート>講習会・ガイダンスの教材>授業テキスト『情報活用基礎』

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/others/tutorial/kougi2018/index.html>

「まず何から読めばいい？」

パスファインダー、にあたる



あるテーマ（学問分野）に関する、概要、学習のポイント、最初に読むべき本などの情報を掲載。総合「Paste+（ぱすてぷらす）」、理工学「りことパス」、外国学「るくばす」を、図書館のラーニング・センター（大学院生）が作成しています。

附属図書館TOP>しらべる>資料の調べ方ガイド>パスファインダー>パスファインダーをさがす

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/pathfinder/>



ポケットの中の図書館

阪大生の疑問に答えるオンラインツール紹介

「英語、やり直せますか？」

e-Bookで多読、で再入門する



リモート

「この記事の続きは有料…？」

新聞記事データベース、で続きを読む

見出しにひかれて読み始めると「以降は有料」「会員登録が必要」という状況、たまにありませんか？ 上にあげる4つの新聞データベースでは、キーワードや日付で記事を探して、紙面イメージを見たり、テキスト形式で読んだりできます。

附属図書館TOP>クイックサーチ>データベース>資料タイプから探す>新聞記事

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/dblist/?type=26>

やさしい英語をたくさん読む「多読」用の電子ブックを387タイトル用意しています（2018年9月現在）。タイトル、6段階の難易度別、出版社別の絞り込み検索もできます。タイトルのA-Z順にすべて読破してみては？

附属図書館TOP>クイックサーチ>電子ブック>e-Bookで多読

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/e-tadoku/>

LS講習会・展示
(2018.2~8)

総合図書館

講習会

- ・テクノロジーと私たちの仕事
—経済学の視点から
- ・「日本人」とは誰のこと?
「自明」に思える事柄について改めて考える機会を持ちませんか
- ・としょかん春のスタディ・スキルセミナー第1弾（ノートの取り方、大学4年間のタイムマネジメント）
- ・としょかん春のスタディ・スキルセミナー第2弾（レポートを書くために必要な「書き方」「読み方」）
- ・LaTeXを使ってみよう！
- ・書きあぐねている人のためのレポート入門
- ・グロコモLSの外国語会話サブリ（中国語・スペイン語）
- ・Youは何しに留学へ？



春のスタディ・スキルセミナー

生命科学図書館

講習会

- ・医療を支える“モノ”づくり
- ・進化し続ける医療製品と材料～異分野の融合～
- ・Office365の使い方を知る
- ・誰でも使える言語～Python 超入門～

図書展示

- ・こんにちは、ラーニング・センターです！



Python 超入門

4図書館のラーニング・センター(LS)による、学ぶ人のための情報ページ

LS FORUM



出会いと奮闘の果てに迎えたターニングポイント

総合図書館LS
国際公共政策研究科・D3
千坂 知世



行くひと

留学の種類	交換留学
留学先	カリフォルニア大学サンタバーバラ校
留学期間	2012年9月～2013年6月

私は、2012年9月から2013年6月までの10ヶ月間、アメリカのカリフォルニア大学サンタバーバラ校(UCSB)に交換留学し、グローバル・スタディーズを専攻する機会を得ました。帰国後5年経った今でも印象に残っている出来事は数多くあります。その中でも特に忘れない二つのエピソードを、以下で紹介したいと思います。それらは、授業での苦労と進路の変化です。

まず、授業について述べます。当時ペルシア語専攻であった私は、アメリカの対中東政策に関心があり、留学中は大阪大学で未履修だった「国際関係論」、「中東政治学」、「国際政治と宗教」といった授業を履修しました。このようにやる気に満ちて念願のアメリカ留学を始めたわけですが、早々に英語力不足による問題に直面しました。そこで、授業についていくために、一日のほとんどを図書館で過ごして大量の必読文献を読んだり、録音した講義を何度も聞き直して文字起こしをしたり、教員やTAのオフィスアワーに毎週行ったりと、できる限りの工夫を凝らして勉強しました。その結果、自然と英語力と基礎学力が伸びたようで、最終学期のGPAの横に“Dean's Honor”的な文字を見たときには本当に驚きました。

続いて、進路の変化に関するエピソードを紹介します。私が留学前に予定していた進路は、就職でした。しかし、交換留学を経て大学院進学を決めました。そのきっかけは、中東政治について、世界トップクラスの研究者、意識の高い現地学生、さらには多様な価値観を持つ世界各国の留学生と議論する機会を得たことです。とりわけペルシア語専攻だと自己紹介した後に、イラン政治について質問責めにあったり、鋭い指摘を受けたり、またそれらに応答すべく奮闘した経験は、留学前には味わったことのない刺激的なものでした。そのような経験が、私が大学院進学を決めた動機の一つであり、研究を続けるモチベーションでもあります。

以上、学习面を中心に留学経験を述べてきました。ただし、私が充実した留学生活を送ることができたのは、日本や世界各国の留学仲間との出会い、現地学生との交流・ハウスシェア、旅行、といった学業以外の経験があったからでもあります。留学で得るものは人それぞれですが、帰国後の人生を豊かにする「何か」を得ることは確かですので、ぜひより多くの皆さんに留学に挑戦してほしいと思います。



ラーニング・サポーターの体験記

留学ー行くひと・来るひとー



■日本で出会った「甘いお菓子の謎」

生命科学図書館LS
人間科学研究科・M2
劉 文娟



来るひと

留学の種類	大学院留学
出身大学	江漢大学 政法学部
留学期間	2016年10月～

ここでは、甘いお菓子についてお話ししようと思います。

私は甘い食べ物が好きで、留学前からずっと日本のお菓子とその文化に強い興味を持っていました。留学中の今は自分で買ったり、お土産にもらったりして日々お菓子を楽しんでいますが、種類が多いのでなかなか全部は食べきれないように感じます。

さて、日本のお菓子に対して私は二つの印象を抱いています。一つは、「中国より甘い」。そしてもう一つは、「人々の日常生活に不可欠な存在となっている」。

日本でお菓子といえば、もっぱら甘い食べ物がイメージされるようです。しかし、中国のお菓子にはナツツ類や豆干（豆腐を乾燥させたもの）、桃酥（塩味のクッキー）など、塩味や辛味のものも多いのです。ですので当初は「お菓子といえば甘いものだ」という文化を理解できませんでした。日本人にとって、甘いことがなぜこれほどまでに重要なのでしょうか？

また、お菓子は頻繁に日常生活に登場します。食事の後にも、打ち上げや歓迎会等のイベントの場にもお菓子。さらに、研究室を訪ねる人のお土産も必ずといってよいほどお菓子です。お菓子がここまで重宝されているのはなぜなのでしょうか？

そんな時、NHKのドラマを見ていると、幕末期に薩摩の経済を支えたのは奄美大島で生産された砂糖だったという話が出てきました。

ここで私は甘いお菓子と砂糖の歴史に思い至りました。150年ほど前の日本では砂糖が極めて貴重なものであったため、今でも甘い食べ物は特別なもの・貴重なものとして認識されているのではないのでしょうか？

実は、中国においてこうした文化的な背景は全くありません。少なくとも過去100年の間、砂糖を貴重なものとして扱うことはなかったのです。こうして、甘いお菓子の謎が解けました。

私は留学を通じて、実に様々な体験をし、數えきれないほど多くのことを学びました。私の専門分野は応用認知心理学で、「スマートフォンによる作業中の不注意誘発の要因解明とそれに対する抑制手法の検討」をテーマに研究していますが、それ以外にも歴史、文化、そして人間のあり方について、本当に多くのことを見、聞き、感じました。専門分野の知識だけではなく、人生を豊かにする知をも身につけたのです。

自分が知らない国、あるいは自分が知りたい国へ行くこととは、単に学問を修めるだけではなく、予測不能な体験をする中で新たな思いや発想を得ることであり、それは私たちにとって間違いなく大事なことであると確信しています。

LS講習会・展示
(2018.2~8)

理工学図書館

講習会

- ・読みたい論文を手に入れよう！
- ・いまさら聞けない！AI×IoTで変わる未来
- ・あなたはソシャゲになぜハマるのか？～驚きのメカニズムと質問紙によるプレイヤータイプ診断！
- ・相手を引き込むプレゼンテーション、伝授します！

図書展示

- ・理工学図書館LSが選ぶ「学部生に役立つ本」



読みたい論文を手に入れよう！

外国学図書館

講習会

- ・卒業論文などのための研究ノート作りを試してみる会（文系研究編）
- ・ハリウッド#MeToo運動から考える現在のアメリカ社会
- ・言語研究にかかせないコーパス基礎知識を40分で伝える講習会
- ・留学・フィールドワークのためのムスリムしぐさ入門
- ・イランの女性とジェンダー
- ・モンゴルの羊と羊毛～ひつじ作りワークショップ～

図書展示

- ・LS Recommended Books
～外語生のためのスキル本～
- ・LS Recommended Books
～この春のLS～



イランの女性とジェンダー

お知らせ

LSのWebページは、附属図書館TOP>しらべる>ラーニング・サポートデスク
<https://www.library.osaka-u.ac.jp/ta/>

NEWS☆図書館からのお知らせ（2018.2～2018.8）

イベント

◆いちょう祭での図書館イベント（総合・4月～5月）

総合図書館では、例年いちょう祭にて施設開放、貴重資料展示、館内ツアー等の催しを行っています。2018年度いちょう祭の貴重資料展示は、前号（51巻2号）の巻頭で特集した「加地伸行文庫」から、記事でも取り上げた『孝経啓蒙』『説文解字注』、および『論語義疏』の計3点を展示了。



大阪大学未来基金「学生のための図書と設備の充実を支援する基金」プロジェクト

大阪大学未来基金は、本学の教育研究活動等を推進するための寄付を募る事業です。未来基金プロジェクトの一つとして、このたび「学生のための図書と設備の充実を支援する基金」を立ち上げました。皆様からのご厚意は、学生用図書等の整備・充実をはじめ、附属図書館における教育研究支援活動に活用させていただきます。詳しくは附属図書館Webサイトをご覧ください。



講習会

図書館では様々な講習会を企画しています。開催情報は、随時かわらばん・Webサイト等にてお知らせします。

◆データベース等利用講習会 [総合・理工学・外国学]

4/20 Reaxys

4/25 Scifinder

5/8-9 Scopus

5/10-11 Mendeley

6/14 Web of Science,
Endnote basic

7/5, 13 ProQuest Research Library,
New York Times collection

7/18 Mendeley



図書展示

・ブックコレクション 教員 vs. 学生 書評対決

(毎月入替) [総合・理工]

◆総合図書館◆

- ・ようこそ 阪大学びの世界へ (4月～6月)
- ・山・海・宙 この夏どこ行く？ (7月～9月)

◆生命科学図書館◆

- ・DVD特集 映像で学ぶ医療 (8月)

◆理工学図書館◆

- ・理工ごはん大全 (2月)
- ・サッカーW杯を図書館で体感してみませんか (6月)
- ・つくる (7～8月)

◆外国学図書館◆

- ・第15回 専攻語図書リレー展示「ビルマ語」 (1～2月)
- ・第16回 専攻語図書リレー展示「トルコ語」 (5～6月)
- ・第61回 14冊の本棚
「東京ディズニーリゾート35周年 14冊+α」 (7～8月)

◆総合図書館

- ・最速最短！大学院生・研究者のためのフルテキスト入手法 (5月)

・としょかん夏の卒論まつり

これから本番！卒論対策30分講座 (8月)

◆理工学図書館

- ・工学系の論文の探し方
入門：超入門編、基礎編 (4～6月)

◆外国学図書館

- ・論文検索ガイド (5月)



Vol.52 No.1 通巻193号

2018年9月30日 発行

編集：大阪大学附属図書館

広報・イベント計画ワーキング・グループ

住所：大阪府豊中市待兼山町1-4

Web: <https://www.library.osaka-u.ac.jp/>

E-mail: kohowg@library.osaka-u.ac.jp

Twitter: @OsakaUnivLib